

6月定例会・議案など	2～3
委員会等活動報告	2
6月定例会・一般質問、総括質疑	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員表彰、議員の行政視察など	8

平成29年4月2日から平成29年6月30日までの出来事を掲載しました。



タイトル：お山参詣でのご来光
 撮影者：石岡 武光さん

議 会 ト ピ ッ ク ス

常任委員会及び議会運営委員会の委員を改選

平成29年第2回定例会で行われました。敬称略。
 ◎委員長、○副委員長。委員は議席番号順に記載。

総務常任委員会

定数7名

- ◎小田桐 慶二 ○佐藤 哲
 蒔苗 博英 石岡 千鶴子
 三上 秋雄 越 明男
 清野 一榮

厚生常任委員会

定数7名

- ◎伏見 秀人 ○木村 隆洋
 加藤 とし子 小山内 司
 石田 久 工藤 光志
 柳田 誠逸

議会運営委員会

定数9名

- ◎清野 一榮
 ○三上 秋雄
 木村 隆洋
 一戸 兼一
 越 明男
 工藤 光志
 栗形 昭一
 高谷 友視
 柳田 誠逸

経済文教常任委員会

定数7名

- ◎鶴ヶ谷 慶市 ○外崎 勝康
 千葉 浩規 尾崎 寿一
 今泉 昌一 田中 元
 宮本 隆志

建設常任委員会

定数7名
 現数6名

- ◎松橋 武史 ○野村 太郎
 鳴海 毅 一戸 兼一
 栗形 昭一 高谷 友視

議会選出各種委員等を選任

常任委員等の改選にあわせて行われた見直しにより、議会から選出した各種委員等は次のとおりとなりました。
 ※議席番号順に記載。敬称略。

○弘前地区消防事務組合議会議員

- 松橋 武史 小田桐慶二
 鳴海 毅 石岡千鶴子
 一戸 兼一 石田 久

○弘前市都市計画審議会委員

- 松橋 武史 今泉 昌一
 小山内 司 工藤 光志

○弘前市土地開発公社顧問

- 木村 隆洋 野村 太郎
 石岡千鶴子 三上 秋雄
 栗形 昭一

○津軽広域連合議会議員

- 木村 隆洋 尾崎 寿一
 加藤とし子 佐藤 哲
 越 明男 工藤 光志
 柳田 誠逸

○弘前地区環境整備事務組合議会議員

- 千葉 浩規 野村 太郎
 外崎 勝康 蒔苗 博英
 伏見 秀人 宮本 隆志
 高谷 友視

平成29年第2回定例会

市長提出議案 16件

平成29年第2回定例会においては市長提出議案計16件について審議が行われました。以下に主な内容をご紹介します。

吉野町緑地周辺整備事業に関する、民間資金等活用事業契約（PFI事業）を議決

吉野町緑地煉瓦倉庫を美術館として整備する為の契約案件が理事者側より議案提出され、一般質問、常任委員会において審議が行われました。慎重審議の結果、賛成多数で契約は可決されました。また、関連して美術館での展示物の購入について審査する弘前市美術品等収集選定委員会を設置するための条例も併せて可決されました。

「民間資金等活用事業契約の締結について」に対する討論

建設常任委員会での「民間資金等活用事業契約の締結について」に対する反対・賛成討論の要旨を以下に掲載します。

○反対の要旨 以下の理由で反対する。

- ・総額49億5424万5000円の膨大な事業費は、市の財政を圧迫し市民サービスの低下につながる
- ・民間資金を導入しないPFI事業は財政的にメリットがない

○賛成の要旨 以下の理由で賛成する。

- ・事業者側の収支計画は市側の試算より厳しい内容であり妥当である
- ・中心市街地の活性化という点で画期的な事業であり推進する必要がある

主な議案

○事件処分の報告及び承認について（事件処分第6号）

【平成29年度弘前市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）】

平成28年度の歳入が歳出に対して不足したため、平成29年度の歳入を繰り上げてこれに充てることとし、この措置に急を要したため処分したものです。

補正額 12億1100万円

○弘前市附属機関設置条例の一部を改正する条例案

地方自治法第138条の4第3項の規定に基づく附属機関として、弘前市美術作品等収集選定委員会を設置するなど、所要の改正をしようとするものです。

○民間資金等活用事業契約の締結について

弘前市吉野町緑地周辺整備等PFI事業契約の締結について、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第12条の規定により、議会の議決を求めるものです。

6月補正後の平成29年度予算

一般会計	781億8713万2千円
（6月補正額）	3億4713万2千円
特別会計	460億4046万7千円
（6月補正額）	12億1294万6千円



吉野町緑地煉瓦倉庫

人事案件 2件

○弘前市監査委員の選任について（1名）

田中 元氏

○人権擁護委員候補者の推薦について（2名）

笹森智彦氏（再任）、清野光則氏（再任）

委員会等活動報告

議員全員協議会

6月23日（金）市役所

- ①平成30年度青森県に対する重点要望事項について

陳情 1件

- 本県独自の学力状況調査の結果公表のあり方の検討を求める「意見書」を提出していただきたい（陳情書）

※陳情書は議員に参考配付しました。

一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。()は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



工藤 光志
(自民・公明・憲政)

病院機能再編協議のその後について

問 市の見解について問う。

答 県は市立病院と国立病院機構弘前病院の統合案を示したことにより、現在、県主導のもと、事務レベルで協議を重ねている。市としては、2次救急医療の維持と市民のための地域医療を未来永劫守っていくという責務を十分に果たすため、より積極的な姿勢を持って議論していく。今後は市議会、市民、市立病院職

員に対しても丁寧に説明を行い、将来の地域医療のあり方を的確に見定めるため、広く専門家の意見を聞きながら、最適な地域医療体制を構築できるよう取り組む。

弘前市経営計画について

問 平成29年度の最重点施策の取組みは。

答 人口減少対策として市民生活の質の向上を図るため、子育て世帯の負担軽減や健康づくりの対策を強化していく。



石田 久
(日本共産党)

地域医療構想について

問 昨年10月に弘前市立病院と国立病院機構弘前病院の統合案が提案され、その後の進捗状況はどうなっているのか。

答 地域医療を守る責務から、中核病院の整備により、安定的な2次救急医療の確保等を目指し、協議している。診療機能や規模、運営形態、病院職員の雇用など個別の協議内容については、現段階では公表を差し控えさせていただきたい。

国民健康保険について

問 国保は財政難、保険料高騰、滞納増という悪循環から抜け出せなくなった。国保料の値上げについて市の見解は。

答 1人当たり平均5%引き上げ、保険料年額が平均4,804円増の平均100,886円とする改定を行った。市民への丁寧な説明が必要であると判断し、平成30年度からの国保財政運営都道府県単位化と合わせ、地域説明会を実施している。



木村 隆洋
(自民・公明・憲政)

家庭系ごみの有料化について

問 今後の方向性を問う。

答 市民や事業者の努力によって、着実にごみの減量が図られている。他市町村で一定の減量効果の実績があり、県内市町村の9割が導入済で、ごみ処分手数料を付加しない家庭系ごみ指定袋が、ごみの減量化に有効と判断し、平成30年度中に導入する方向で準備を進めたい。

弘前市連合父母と教師の会の不明瞭会計

問題について

問 市の見解を問う。

答 詳細は現在も調査中であるが、教育委員会では、昨年度交付した補助金の報告内容の点検作業を再度行ったところである。これまでも補助要綱に基づいた適正な会計処理を行うよう助言してきたが、今後は団体に対して厳正な事務処理をするようしっかりと指導し、問題を早期解決するため、互いに協力して調査する。



外崎 勝康
(自民・公明・憲政)

弘前さくらまつりと弘前城について

問 総括と将来計画、城跡の調査は。

答 入出が昨年と比べ15万人増の251万人で有料入園者数も3万516人増の22万7104人となった。今後はビッグデータを活用し、観光を当市の稼げる産業にする。また、弘前城跡は江戸時代の城郭を研究する上で全国屈指の城跡であり、石垣解体修理の学術的な調査とともに特別史跡指定に繋がるような研究も進める。

ネウボラ（アドバイスの場）について

問 当市の対応内容及び計画を示せ。

答 「ネウボラ」はフィンランド語で「アドバイスの場所」を意味し、妊娠期から育児まで様々なサポートを継続的にする場のこと。安心して出産・子育てができるよう対応する保健師や助産師等のスキルアップにもこれまで以上に力を入れ、弘前市版ネウボラの構築に当たり先進事例を踏まえ体制整備を検討する。

請願 4件

- 政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書について国への意見書提出に関する請願書 …… 不採択
- 家庭ゴミの有料化に反対する請願書 …… 不採択
- 農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願 …… 不採択
- 収入保険ではなく戸別所得補償の復活を求め、果樹共済の「特定危険方式」を廃止しないことを求める請願 …… 不採択



千葉 浩規
(日本共産党)

家庭系ごみの有料化について

問 住民の皆さんが、千筆以上集めた家庭系ごみ有料化反対の請願署名を添えて、「有料化反対」の請願書を本議会に提出したことを紹介。市は、こうした市民の声をどのように受け止めているのか。「有料化が有効」との「答申」をどのように扱おうとしているのか質問。

答 複数の団体から家庭系ごみの有料化に反対の旨の請願が、市議会に提出さ

れ、市民の間でも様々な意見があることを認識している。市としては、ごみ処分手数料を付加しない家庭系ごみ指定袋が、ごみの減量化に有効であると判断し、平成30年度中に導入する方向で準備を進めたい。

〈その他の質問項目〉

- 農作業の事故防止対策について
- 弘前市立地適正化計画について
- 道徳の教科化について



伏見 秀人
(弘新会)

民生委員の活動環境の整備について

問 民生委員協力員制度の導入について。

答 民生委員との連携強化により、民生委員活動の様々な課題解決や不安解消に努め、成り手不足の解消に取り組む。民生委員協力員制度については、他市の導入事例もあり、民生委員の意向調査を行うなど、研究してまいりたい。

成年後見支援センターの利用状況と今後の課題について

問 市の所見を伺う。

答 相談支援件数は年々減っているが、地域包括支援センター等との役割分担によるもの。地域別内訳は、市外からの相談件数が増加している。今後、津軽地域全体で後期高齢者の急増が想定される中、相談数や市民後見人の需要増で、現体制では対応できなくなることが懸念され、成年後見支援センターの広域的運営を念頭に関係市町村とともに検討していく。



蒔苗 博英
(自民・公明・憲政)

りんご産業イノベーション戦略推進事業について

問 事業の新たな取り組み内容を示せ。

答 りんご産業のさらなる成長を目指すため、新たにりんごづくりを希望する人や若手のための研修、熟練者の活躍継続に繋げるためのプログラム等を構築するため、摘果や剪定など年間を通して行われる作業を熟練者の動きなどを分析し見極め方を可視化することで入門段階の人

が従来よりも短期間で技術を習得するような学習支援システムや、りんごの着色に影響する光線やりんごの生理解析等の先端計測により管理作業の省力化と高品質化を同時に実現する生産技術の構築を目指すことで、次世代に向けた新たなりんごづくりの構築に繋げていく。

〈その他の質問項目〉

- GAPに関する取り組み
- りんご公園整備事業の進捗状況と整備後の活用



野村 太郎
(自民・公明・憲政)

北朝鮮によるミサイル発射事案について

問 弘前市の対応を問う。

答 本年4月に国から「弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動について」が示されたのを受け、市のホームページに掲載し市民への周知を図った。また、全国瞬時警報システム発動時における市幹部職員の連絡体制、参集ルール、職員のとるべき行動についても定める等市職員全体で対応にあたる。

若者の健康維持について

問 健康維持への考え・取り組みを問う。

答 生活習慣病の発症及び重症化の予防には、若い世代の生活習慣病予備群を早期発見し、健康づくりへの意識啓発を図ることが重要である。市では、39歳以下の国民健康保険被保険者男性への健康診査と保健指導、18歳から39歳の女性への「女性の健康診査」、30歳の全市民への無料歯科健康診査等を実施している。



松橋 武史
(弘新会)

屋内・温水学校プールのセンター方式の導入について

問 市長の所見を伺う。

答 多くの学校が共用できる屋内・温水プールを新たに建設することについては、1つのプランとして、シミュレーションし検討する。

家庭系ごみの有料化及び指定袋導入について

問 ごみ排出量の目標と、指定袋導入の

時期について伺う。

答 平成28年度の家庭系の1人1日当たりのごみ排出量は、推計値で733グラム。平成32年度の目標値は680グラムであるため、53グラム削減することにより、目標を達成することができる。そのために、ごみ処分手数料を付加しない家庭系ごみ指定袋を導入したい。また、導入時期は、平成30年秋ごろに導入する方向で準備を進めたい。



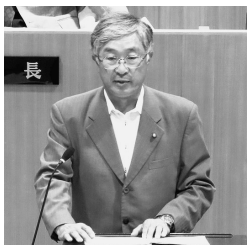
小田 桐慶二
(自民・公明・憲政)

手話言語条例の制定について

問 聴覚障がい者の意思疎通支援関係の施策の現状と条例制定の見解を問う。
答 手話通訳者を派遣する事業等により障がい者への対応の充実に努めてきた。昨年6月に全国手話言語市区長会に加入し、現在条例の内容を研究しているが、全ての市民が尊重し合いながら安心して生活できるよう障がい者の権利擁護を網羅した包括的な条例案を検討していく。

事業系生ごみ削減について

問 生ごみの現状・資源化事業者の採算性・削減の推進について問う。
答 事業系可燃ごみは排出量全体の34%を占め、業者からは生ごみのリサイクルは採算性が低いとの報告があるが、今後も削減に向けた普及啓発活動を展開する。
 〈その他の質問項目〉
 ○第6期介護保険事業の取り組み状況と今後の考え方について



尾崎 寿一
(自民・公明・憲政)

農業行政について

問 りんご産業に係る人手不足について問う。
答 当市のりんご生産現場において、農業者の高齢化や担い手の減少に加え、補助労働力不足が顕在化しており、日本一のリんご産地を維持するためにも、労働力不足についての対策が急務であると認識している。市としては様々な取り組みにより、新たなモデルを確立することで、

担い手のみならず多様な人材がりんごづくりに参画することの機会を増やしていきたい。今後のりんご生産現場における労働力不足の解消を農業関係団体と連携しながら、県に対しても対策等を強く要望し、日本一のリんご産地を堅持していく。
 〈その他の質問項目〉
 ○学力向上対策事業について
 ○空き家の現状と利活用の実績について



越 明 男
(日本共産党)

市長のイタリア視察について

問 「東北の一都市の市長が、しばしば公費でヨーロッパ等に出かける政治姿勢に、疑問を抱かざるを得ない。」との声が寄せられている。今回のイタリア訪問と視察は、どんな目的、日程で、市の政治にどんな公益性をもたらすのか。
答 4月4日から9日までの6日間、弘前デザインウィーク事業の「津軽塗デザインプロジェクト」において、世界的プ

ロダクトデザイナー喜多俊之氏が商品開発を手がけた津軽塗の商品をはじめとする工芸品を世界最大規模で30万人の来場者を誇る国際見本市ミラノサローネへ出展した。市長を含めた市側渡航者、計5名の旅費総額は、464万1025円である。
 〈その他の質問項目〉
 ○町会活動に関するアンケート調査結果報告書
 ○弘前市吉野町緑地周辺整備等PFI事業
 ○広報ひろさきの編集



加藤 とし子
(弘前市民クラブ)

教師の多忙化について

問 文部科学省の2016年度教員勤務実態調査の結果を市教育委員会はどうに捉えているか。今後の取り組みは。
答 小学校は授業等に係る時間が増えており、市独自の支援員の配置事業充実に努める。中学校は部活動に係る時間が大きく増えており、土・日に大会等があった場合は休養日を振り替え、確実に取得されるよう学校と連携していく。また、

当市で実施の「地域スポーツアシスタント事業」により外部指導者を確保したい。当市では「定時退下の日」を設けていないが、独自に設けている学校は9校ある。今後は事務手続きの簡略化等により多忙化が解消されるよう検討を進めていく。
 〈その他の質問項目〉
 ○今冬の雪対策
 ○ごみの減量化及び資源化
 ○弘前さくらまつり
 ○消費者問題
 ○庁舎内に開設されたレストラン

平成29年第2回定例会日程 (22日間) ○傍聴者の数：延べ109人

6月2日(金) 本会議	開会、会期の決定、 常任委員・議会運営委員の選任、 一部事務組合・広域連合 合議会議員の互選、 提案理由の説明 議案熟考	6月19日(月) 常任委員会	総務、厚生、 経済文教、建設
6月3日(土)～6月12日(月)		6月20日(火) 常任委員会	予算決算
6月13日(火)～6月15日(木)		6月21日(水)～6月22日(木)	議事整理
6月16日(金) 本会議	一般質問 一般質問、総括質疑、 議案付託	6月23日(金) 本会議	各委員長の報告、 質疑、討論、表決、 閉会

今年はこれまで延べ**162**人が傍聴しています。日程をご確認の上、お気軽にお越しください。





栗形 昭一
(無所属クラブ)

市の景気動向について

問 景気動向をどのように捉えているか。

答 中心商店街の空き店舗率の改善、有効求人倍率の最高値更新、観光入込客数や宿泊客数の増加など、様々な分野で市の産業政策の成果が一定程度現れたと考えているが、商工会議所や東奥信用金庫の調査では実質的な「景気の高揚感」が目に見えて現れておらず、経済情勢は依然として厳しい状況だと認識している。

市民所得と暮らしぶりについて

問 1人当たりの所得の推移はどうか。

答 平成26年度の1人当たりの総所得金額は264万9千円、27年度は268万8千円、28年度は269万6千円と、伸びている。地域産業の活力の維持や向上を図った市の取り組みの効果が市民所得の増加として現れていると考えており、今後とも効果的な施策の構築に努めていく。

〈その他の質問項目〉〇市の財政運営



今泉 昌一
(無所属クラブ)

岩本山麓の観光開発について

問 津軽歴史文化資料展示施設と高照神社について。

答 津軽歴史文化資料展示施設整備事業は、高照神社宝物殿の老朽化に伴い、貴重な美術工芸品や歴史資料の継承が危ぶまれ、新規整備が計画された。この区域には高照神社の馬場跡、社殿群、境内地空間、門前の高岡集落といった魅力的な要素があり、今後も神社や地元と協力し

ながら地区全体の魅力向上に努めたい。

空き店舗対策について

問 空き店舗活用支援事業費補助金について。

答 中心商店街活性化のため平成23年度から実施しており、平成29年2月末日時点の調査では、中心商店街全体の空き店舗率は7.8%に低減。今後も空き店舗解消に向け、公正性及び公平性は維持しつつ、活用しやすい制度になるよう努める。



石岡 千鶴子
(弘前市民クラブ)

農業行政について

問 りんご生産に係る労働力不足についての現状と対策について。

答 農作業支援雇用対策事業により、過去7年で延べ647人雇用され、76人の継続雇用につながった。今後は、多様な人材がりんごづくりに参画できる環境の整備などに取り組む予定。

ビットコインによる寄附金を集める試みについて

問 懸念されるリスクと、それらに対処するセキュリティの確立について。

答 ビットコインの消失といった取引所の問題。この点については、本年4月改正資金決済法により、日本国内の取引所は登録制となり、利用者保護が徹底される仕組みとなっている。国内の大手家電量販店においても、決済手段としてビットコインの導入を開始するなど、社会的に確立されつつある。

議案等に対する各議員の賛否状況

議案は、○は賛成、●は反対。請願は、○は採択、●は不採択。
ーは採決に加入らなかったもの。
議長（下山文雄）は採決に加入していません。
※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

議案名	採決結果	木村 隆洋	千葉 浩規	野村 太郎	外崎 勝康	尾崎 寿一	蒔苗 博英	松橋 武史	今泉 昌一	小田 桐慶二	伏見 秀人	鶴ヶ谷 慶市	鳴海 毅	石岡 千鶴子
事件処分の報告及び承認について（事件処分第6号）	承認	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
弘前市附属機関設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●
民間資金等活用事業契約の締結について	可決	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●
政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書について国への意見書提出に関する請願書	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
家庭ゴミの有料化に反対する請願書	不採択	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○
農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願	不採択	●	○	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●
収入保険ではなく戸別所得補償の復活を求め、果樹共済の「特定危険方式」を廃止しないことを求める請願	不採択	●	○	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●

全国市議会議長会議員表彰

全国市議会議長会より、以下の議員に対して、
 永年勤続表彰が行われました。(敬称略)



特別表彰 在職30年以上
 柳田 誠逸



一般表彰 在職10年以上
 鳴海 毅



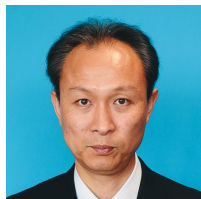
一般表彰 在職10年以上
 鶴ヶ谷 慶市



一般表彰 在職10年以上
 伏見 秀人



一般表彰 在職10年以上
 今泉 昌一



一般表彰 在職10年以上
 松橋 武史

高齢者叙勲伝達

旭日単光章 津川 文義氏 前田 正博氏

会派一般行政視察

弘前市民クラブ

4月24日(月)～27日(木)

- ①北海道稚内市
 ○次世代エネルギーについて
- ②北海道旭川市
 ○東部まちづくりセンターの概要
 及び新エネルギーについて
- ③北海道札幌市
 ○次世代エネルギーパークについて

弘新会

5月23日(火)～5月25日(木)

- ①京都府宇治市
 ○宇治市観光振興計画推進事業
 について
- ②静岡県浜松市
 ○フラワーパーク・フルーツパーク
 について



宇治市役所にて



旭川市東部まちづくりセンター内にある地中熱冷暖房システム

表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。
 ・メールアドレス gikai@city.hirosaki.lg.jp
- ◎締め切り 第50号(平成29年12月発行)の締め切りは平成29年10月10日(火)です。
 また、次号以降の表紙写真についても順次募集いたします。

◎応募上の注意

応募写真に個人を特定できるような人物(第三者)が写っているとき、または、撮影した対象物が個人の所有物である場合は、応募者の責任で人物(被写体)、または、所有者の承諾を得てください。(本市議会では第三者からの著作権侵害、肖像権侵害等の請求を一切受け付けません。)

【詳しくはホームページ、または議会事務局へお問い合わせください。】

はるか夢球場議員見学会



5月31日(水)、完成し引き渡しを終えたばかりのはるか夢球場の議員見学会が行われました。参加人数は10人。真新しい人工芝や整った設備に手を触れて、改めて市のスポーツの振興の核になる施設であってほしいと確認し合いました。

弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。

